

新潟県立長岡聾学校

きこえ通信

当校 HP にも掲載中!

<http://www.nagaokarou.nein.ed.jp/support.html>

新潟県立長岡聾学校通級指導教室

〒940-0093 長岡市水道町2-1-13

Tel 0258-38-0210 (通級指導教室)

*18:00頃までをお願いいたします。メールもご利用ください。

FAX 0258-39-5665

e-mail school@nagaokarou.nein.ed.jp

令和6年度 第10号 発行：令和7年2月

今年度も残りわずかとなりました。ご理解とご協力をありがとうございます。今回は長岡聾学校で行っている教育相談について、一般的な難聴以外のきこえにくさに関わる例についてお知らせいたします。

長岡聾学校は在籍している幼児児童生徒への指導・支援だけでなく、センター的機能として上中越の乳幼児から高校生までの教育相談を行っています。きこえに関わることは、当校へご相談ください。新生児スクリーニングの普及により、難聴の可能性がある乳幼児が発見されやすくなり、当校へも多くの乳幼児とその保護者が相談に来て、聴力測定や補聴器の試聴、保育や今後の就学の相談などを行っています。他には、小学校入学前の就学時健診で難聴が発見された、学校生活を送るうちに難聴が分かったなどのケースがあります。その中で、近年相談がある「片耳難聴」、「突発性難聴」、「APD(聴覚情報処理障害)/LiD(聴き取り困難)」、「高音急墜型難聴」、「機能性難聴」について、以下に理解と支援についてお知らせいたします。発見しにくい例もあります。

片耳難聴について*当校支援部作成資料より抜粋

○困難を感じる場面の例

- ・どの方向から聞こえているか、分かりづらい。
 - ・騒音下や話し合いの場面では、聞き取りづらく疲労が大きい。
 - ・聞こえにくい耳側から話されると、理解できなかつたり気がつかなくなつたりする。
- *「聞こえている」状態もあるため、大丈夫と思われることもあるが、個人によって困り感も様々である。

○支援方法の例

- ・注意を引きつけてから話す。・子どもの方を向いて話す。・話す時は、適宜間を取る。
- ・課題や重要な連絡は、板書やイラストなどで視覚的に示す。
- ・初めて学習する語句や難しい語句は、口頭だけでなく、文字で示す。
- ・話の内容の理解のために、くり返す。他に言い換えることも重要。例：他に同じ意味の言葉は？
- ・話題を変える前に、それまでの内容が理解できているか、確認する。
- ・聞こえる方の耳に配慮した、座席を配置する。
- ・教室の雑音を軽減する。例：机や椅子にテニスボールを付けるなど。*参照：きこいるHP

（あれ？Aさんの話は分かるけどBさんの話は…）

ド ▲ ▲ ▲
チ * △ 分 □ ○、
の

それで明日は
昼休みに体育館で

あると嬉しいさりげない支援です。
他の子どもたちにも、通じる支援とも言えます。

突発性難聴について*参照：「家来るドクター」HP

○原因と言われていること

- ・ウィルス性(鼻と耳が繋がっているため) ・内耳循環が良くない。 ・ストレスや疲れ、睡眠不足

○状態の例

- ・聞き取りにくい。片側が多い。 ・カクテルパーティー効果(雑音の中で必要な話を聞き取ることが)が難しい。

○対応方法

- ・発症後、すぐに耳鼻科医を受診する。早め(72時間以内または1週間以内と言われています)のステロイド投与で改善する可能性がある。*特にめまいがあれば、早めに受診する。(他の病気の可能性もある)
- ・風邪等の感染症の予防と、かかった場合の早めの手当て ・ストレスや疲れへの対応(よく休むなど)

早めの受診で改善する可能性あり。

APD(聴覚情報処理障害)/LiD(聴き取り困難)について*参照:NHK HP

ー昨年12月11日にNHK「ハートネットTV〜きこえているのにききとれない〜」で紹介されました。ここ10年ほど、話題になっています。診療できる、必要な検査ができる医療機関は全国でも多くありません。

○状態や困り感の例

- ・一般的な聴力検査(純音聴力検査、語音明瞭度検査)では正常値だが、言葉や会話が聞き取りにくい。
- ・困難さが理解されにくく、悩みを抱える。
- ・雑音があると聞き取りにくい。

フォナック社カタログより

○支援方法の例

- ・雑音を避ける。→ 定期テストや入試等を別室で受ける、静かな場所で話す、耳栓(含ノイズキャンセリングイヤホン)等の使用
- ・ロジャーフォーカス(受信機と送信機)の利用

→ 耳に直接音声を届けるシステム。右図⇒



- ・学校であれば、机や椅子にテニスボールを付け、雑音を軽減する。
- ・文字情報での伝達 → 授業資料をプリントで、筆談、UD トークなどの音声変換アプリの活用、話し合いの内容を箇条書きに、ICT の活用で「見える化」を(Jam Board など)
- ・リスニングで聞き取りやすい方法を選ぶ → 肉声か CD 等の音声データか、教室でスピーカーの近くか別室か
- ・座席の配慮 → 前から2〜3番目くらい。*参照:APDの理解と支援(小淵、原島;学苑社)、KIKOELIFE HP 他

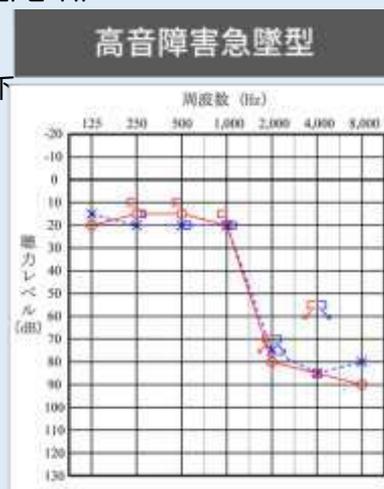
高音急墜型難聴について*画像は KIKOELIFE HP

○特徴など

- ・2000Hz、4000Hz、8000Hz の聴力が低く、オーディオグラムを見ると、急に低下しているように見える。平均聴力だけ見ると、きこえにくさがないように見える。
- ・日頃のコミュニケーションなどに大きな困り感はないように見受けられるが、聞き漏らしや聞き間違いはある。
- ・高音の聴力が低いため、英語の聞き取りなどが困難なことがある。

○支援方法の例

- ・座席の配慮、テニスボールなどでの雑音の軽減、リスニングのあるテストでの別室受験など、一般的な難聴への配慮を行う。耳鼻科への受診も必要。
- ・補聴器装用が効果的なこともある。 *参照:めがねの荒木 HP 他



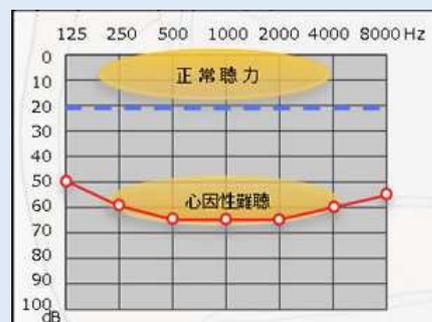
機能性(心因性)難聴について*画像は大阪府豊中市細田耳鼻科 HP

○特徴など

- ・幼児児童生徒の例では、何らかの心配事などとの見方もあるが、原因ははっきりしていない。聴力を調べて初めてきこえにくさが分かることもある。
- ・オーディオメータで聴力を調べると右図のように 60dB から70dB くらいを示すが、脳波を調べると正常なきこえの範囲を示す。
- ・日常生活での聞こえにくさはあるが、会話は可能。

○支援方法の例

- ・座席の配慮、テニスボールなどでの雑音の軽減、リスニングのあるテストでの別室受験など、一般的な難聴への配慮を行う。耳鼻科への受診も必要。 *参照:菅家耳鼻咽喉科 HP 他



◎きこえが気になる場合、支援方法や支援グッズなどを検討したい場合、当校へご連絡をお願いいたします。

相談窓口:0258-38-0191(長岡聾学校幼小教務室:教頭)